

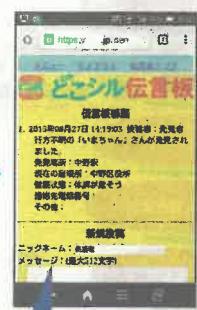
身元不明者保護情報共有サービス



どこシル伝言板®



どこシル伝言板
紹介ページ



この画面は保護者と
発見者のみしか
見ることができます



24時間 365日
素早く連絡が取れる!



どこシル伝言板® の特徴・優位性

- 高い費用対効果…費用が発生するのは購入時のみ
- 耐久性…最低2年は継続使用できるQRコードラベル
- 汎用性…24時間365日いつでも誰でも協力できる手軽な操作性
- 利便性…特殊な装置やアプリ等を使わず、自分のスマートフォンで使用できる
- 機能性…事務局(自治体など)による積極的相談介入業務支援
- 効率性…本人・家族・協力者・関係者等の負担軽減

主に警察が推進

保護した警察等により、直接
ご家族などへ連絡が可能

自治体が推進

保護した警察等から、自治体への
本人照会などが付帯的に発生する

自治体が推進可能

様々な付帯業務軽減が図れ、
最も効率的な運用が可能

第1世代：名前と連絡先を書いて衣服の内側に縫い付ける

- *個人情報の管理面に問題がある
- *ご本人に確認する際、精神的な負担がかかる
- *名札を取り付けるご家族の心理的な葛藤がある
- *名札の耐久性に問題がある

第2世代：番号やロゴマークの入った札を貼付する

- *確認の問合せ方法を別途周知する必要がある
- *小さな札に記載された内容を確認するのに手間取る場合がある(札など)
- *24時間365日の問合せ対応に負担が大きい
- *保護してから確認に時間を要する

第3世代：QRコードの貼付

- *QRコードを読み取ることで対応方法が周知される
- *個人情報の確認には問合せ対応が必要
- *問合せ対応の為に個人情報リストの作成とメンテナンスを要する

第4世代



*QRコードを読み取るだけで、24時間365日、自動的に家族等に直接かつ迅速に連絡が取れる

*ご本人へのヒヤリング不要なので、
心理的な負担を最小限にできる

*個人情報を一切使用しない為、
自治体での取扱い(情報システム上の取扱含む)も漏洩リスクも低減

*認知症初期集中支援との連続性も
確保出来得る

自治体の業務負担量

警察等の保護負担量 (時間)

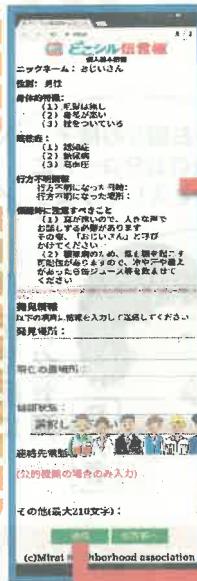
システム導入による
負担軽減効果



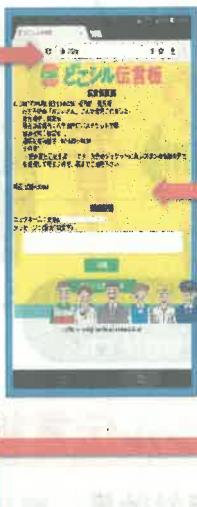
どこシル伝言板®

運用の流れ(事務局=自治体モデル)

東京開発



24時間365日、
迅速な対応を実現



ご本人の負担も最小化

*事務局=調剤薬局・ドラッグストアモデルは自治体との連携を要します

効果的な
貼付例



胸ポケット

アイロン不可の素材は
蓄光シールで

どこシル伝言板® の基本利用料金 (2018年8月現在)

初期導入費 35,000円

*運営法人・団体オリジナルラベル・シール版作成費用。 *初期導入支援費用を含む

ラベルシール混合セット (耐洗ラベル+蓄光シール)

50枚セット (耐洗40枚・蓄光10枚) 3,900円

40枚セット (耐洗30枚・蓄光10枚) 3,590円

30枚セット (耐洗20枚・蓄光10枚) 3,290円

*セット枚数は1ID当たり
の発行枚数です
※配載料金は消費税別

[備考] (2018年8月現在)

①本サービスは管理システム運用及び事務局機能の設置を要する為、運営法人・団体にて一括購入後、利用者に販売・配布を行う形態となっております。当社から利用者への直接購入対応はできませんのでご注意ください。

②耐洗コードラベル・蓄光シール共に10枚を最小単位として、任意の枚数でのセットが可能です。また一括購入最小ロットは10名様分(ID)からとなっております。

③ご納入の際は、別途お見積りをさせていただきますので、下記までお問い合わせください。

東邦ホールディングス株式会社
〒100-6610 東京都千代田区丸の内1-9-2
グラントウキョウサウスタワー12F
mirai-town@so.tohoyk.co.jp

TEL.03-6838-2834 [担当:日高・橋田]

受付: 平日 8:30 ~ 17:00 (土日祝日を除く)

FAX.03-6838-2903



どこシル伝言板®は当社の登録商標です。QRコードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です